



飲食店でも、家庭でも きっちり防ごう食中毒!

平成 29 年 8 月 30 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 34 週分・8 月 21 日～8 月 27 日)

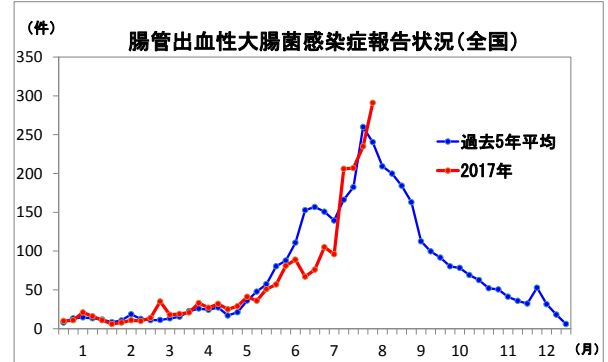
《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症の報告数は、例年 8 月にピークに達し、全国では 1 週間に 200 人を超える報告があります(図)。今年も 8 月に入って EHEC を原因とする食中毒事例が相次いで報じられています。全国の報告数は第 33 週現在、1,995 件(前年同時期 1,951 件、確定値) 県内の報告数は、8 月 29 日現在、25 件(前年同時期 7 件)となっています(表)。

O157 や O26、O111 に代表される EHEC は、強力な毒素(ベロ毒素)を産生する大腸菌です。感染すると激しい腹痛や血便などの症状が現れます。患者の一部は溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、小児や高齢者は HUS や脳症になりやすいので注意が必要です。

市販されている生肉や野菜には、EHEC をはじめとする食中毒菌が付いていることがあります。次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。



腸管出血性大腸菌感染症報告状況(富山県)
2017年8月29日現在

O血清群	平成29年	平成28年 同時期	平成28年 総数
O157	11	0	4
O26	10	3	39
O91	3	0	0
O121	0	3	3
O145	0	1	1
O146	1	0	0
合計	25	7	47

- ①調理や食事の前、トイレの後は必ず手を洗う
- ②食材は調理までの間、低温(10℃以下)で保存する
- ③サラダなど、生で食べる野菜は流水でしっかり洗う
- ④食肉やレバーなどの内臓肉は生・加熱不十分な状態で食べない
- ⑤まな板などの調理器具は「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける



食中毒予防の3原則

- つけない
- 増やさない
- やっつける



《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 4件(①20歳代、男性 ②30歳代、女性 ③60歳代、女性 ④70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件(①20歳代、女性、O26、VT1
②50歳代、男性、O157、VT2 ③60歳代、男性、O146、VT1 VT2)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(80歳代、女性)
後天性免疫不全症候群 1件(30歳代、男性、AIDS)
侵襲性肺炎球菌感染症 1件(第33週診断分：40歳代、男性)
播種性クリプトコックス症 1件(第33週診断分：30歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	手足口病	4.34	5.14	↓
2位	感染性胃腸炎	4.24	2.93	↑
3位	RSウイルス感染症	2.72	1.62	↑
4位	ヘルパンギーナ	1.59	0.90	↑
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	0.66	↑
6位	突発性発しん	0.34	0.28	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第34週 平成29年8月21日～平成29年8月27日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2		2	4	9	6	32	10	57	114
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3
	腸管出血性大腸菌感染症	1		1		1	3	1	2	8	1	11	23
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											3	3
	レジオネラ症							4		8	1	10	23
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1	2			4	2	8
	急性脳炎											1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群					1	1			1		4	5
	ジアルジア症							2		1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							4		4	2	17	27
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒							1		4		5	10
	播種性クリプトкокクス症											1	1
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ				1		1	1,886	1,364	2,453	1,553	3,418
					0.14		0.02						
RSウイルス感染症		1	5	9	18	46	79	40	32	48	83	491	694
		0.25	1.67	1.13	4.50	4.60	2.72						
咽頭結膜熱		2		2		1	5	76	25	205	61	156	523
		0.50		0.25		0.10	0.17						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	1	9	1	17	30	115	48	687	231	623	1,704
		0.50	0.33	1.13	0.25	1.70	1.03						
感染性胃腸炎		25	13	28	1	56	123	1,179	767	1,176	519	2,634	6,275
		6.25	4.33	3.50	0.25	5.60	4.24						
水痘			1	2	2	1	6	6	33	77	32	113	261
			0.33	0.25	0.50	0.10	0.21						
手足口病		18	7	46	18	37	126	218	160	988	239	904	2,509
		4.50	2.33	5.75	4.50	3.70	4.34						
伝染性紅斑										5	1	17	23
突発性発しん		1	1	3		5	10	37	26	150	57	101	371
		0.25	0.33	0.38		0.50	0.34						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ		4	3	20	7	12	46	34	35	179	48	93	389
		1.00	1.00	2.50	1.75	1.20	1.59						
流行性耳下腺炎		1				1	2	153	64	408	77	351	1,053
		0.25				0.10	0.07						
急性出血性結膜炎										3	2		5
流行性角結膜炎					2		2		3	215	20	5	243
					2.00		0.29						
細菌性髄膜炎								1				1	2
無菌性髄膜炎								1				3	4
マイコプラズマ肺炎							9	2	14	9	16	50	
クラミジア肺炎							1			1	2	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）				1	1	2	54	3	38	108	99	302	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成28年第36週（9月6日）～の集計です。